

今月のゲストは、今年のフェブリースの勝ち馬ペプチドナイルのオーナー、沼川一彦さん。  
馬主になるきっかけや武英智調教師との縁についてもうかがった。(この対談は3月30日に収録しました)

競馬も、馬券もぜんぜん  
知りませんでした

杉本 熊本にお住まいということですが、阪神でレースを使われるときは飛行機でいらっしゃるんですか。

沼川 だいたい飛行機ですが、今日(3月30日)は満席でした。

杉本 そうすると新幹線で。

沼川 はい。熊本駅6時8分の出発でした。

杉本 今日は最終レースにも馬を使われていますが、とんば返りされるんですか。

沼川 そうです。帰りも新幹線です。飛行機の最終は7時半ぐらいなんですが、新幹線はすぐに乗車できますし、7時半ですと、もう小倉に着いています。小倉から熊本は1時間ですから。

杉本 そうですか。プロフィールを拝見しますと、馬主になられて32年目とか。

沼川 計算はしてませんが、私は27、28年競馬で1、2年走らせていました。その頃はまったくにもわからない状態で、人に任せて走らせていました。

杉本 馬を持たれたきつかけは。

沼川 たまたま神戸に、肝硬変が重症の方がおられまして、その方は馬主だったんですね。うちの製品で元気になられまして、「これだけたら馬に飲ませてもいいのかな」とおっしゃっていました。「動物の方がよりいい

が及ばなくて、母親からと。

杉本 いや、それが正解なんですよ。仔馬に口からものを入れるのは、皆嫌がりますから。ヒカルイマイというダービーに勝つた馬がいまして、生産したのが普通の農家で、牛乳を飲ませていたんです。昔は馬に牛乳を飲ませるのは駄目という考え方がありましたけれど、競馬好きのお爺ちゃんが、「人間が飲んでいいものを、馬が飲んでなにがいかん」と言つて(笑)。

沼川 そうなんです(笑)。単純に言いますと、牛乳ってタンパク質とカルシウムみたいなもので、悪いわけがないんです。

杉本 なるほどね。でも、繁殖牝馬から買つて始めるとき、結果が出るまで時間がかかりますが、そのへんはどうでしたか。

沼川 競馬の競走の世界は、あまり私の考えになかったんです。ただ、立派な馬を生産してみたいというだけで。それがつながつて、あとで勝つてくれればいいかなと。

杉本 ああ、なるほど。

沼川 でも、そのときに、「走らないと面白くないよ」と瀬戸口勉先生に言われまして、杵臼牧場から別にビッグジエムという馬を買いました。これがデビュー2戦目を勝ち上がりまして。それから、ペプチドモードという馬が、先ほどの母親から生まれた馬で、新馬勝ちしたんです。勝つてくれると、賞金も入りますし、面白いなという気持ちが、初めて湧きましたね(笑)。

杉本 それが成績が出てなかつたら。

沼川 やめていたかも知れません(笑)。ビッグジエムは6年間走つて、6勝。ペプチドモードは、レコードまでは持つてないで

結果が出やすいですよ」ということだけは申し上げてお別れしてたんです。そしたら、馬に飲ませたら元気になつて活躍はじめたという話を聞きました。それで、自分で馬を買って、うちの製品を飲ませて、活躍する馬が出てくればいいかなという発想が

そのとき、ふつと湧いたんですよ。

杉本 ああ、そうですか、そうすると、そこまでは競馬というものは……。

沼川 ゼンゼン知りませんでした。

杉本 馬券も……。

沼川 知りませんでした。今も買い方はあまり知りません(笑)。単勝と複勝だけは買っていますが。

杉本 僕も最初、昭和36年にアナウンサーになって、研修で阪神競馬場に連れてこられました。馬券の買い方も知らなかつたんですが、最終レースで、馬券を買うなら買つてもいいよと言われて、それで、単勝はわかるので、買ったら1着になつて。

沼川 勝っちゃつたんですか(笑)。

杉本 それからもう、病みつきですよ(笑)。それで、本来は野球の実況をやりたかつたんですけど、競馬をやるようになつたんです。そうしたら、まったくわからないまま馬を持たれた。

沼川 そうです。最初、杵臼牧場から、母親を買ったんです。

杉本 杵臼牧場に行つたきつかけは。

沼川 先ほどお話しした、肝臓が悪い方の

ところに連れていつてくれた方の紹介で。その方が杵臼さんをご存じだったんだと思っています。

杉本 僕も杵臼牧場は何回か行ったことがあるんです。昔は浦河とか日高の方が馬産地の本場で、夏、競馬場に行かないときは、北海道の牧場巡りをしてました。杵臼牧場の代表は、鎌田さん……。

沼川 ああ、そうですか。

杉本 今でもね、年に3回ぐらいは行つて泊めてもらつたこともあります。

沼川 かしいなと思いまして。最近はなんでもかんでもノーザンファームなので(笑)。

杉本 だから、杵臼牧場と見たときは、懐かしいなと思いまして。最近はなんでもかんでもノーザンファームなので(笑)。

沼川 今でもね、年に3回ぐらいは行つて泊めています。

沼川 そうですね。鎌田さんのところに泊めました。

沼川 そうですね。鎌田さんと一緒に馬を育てています。

沼川 はい。お産馬をまず買って、うちの健康食品、ペプチドというんですけど、それを飲ませて、母親の母体をつくり変えて、そこで種付けして、その子供を走らせよう

というのが私の考え方なんです(編集部注・ペプチドは競走馬理化学研究所の飼料検査に合格した食品)。

杉本 そうか。母親に飲ませておいて、仔馬が栄養として母親から吸収すれば、仔馬も強くなると。そういうお考えで。

沼川 そういうことです(笑)。普通だったら、生まれて半年ぐらいに庭先(直接売買)で買いますよね。それに飲ませて走らせたら良かつたんですけど。今だったら、そういうことでしたんでしょうけど、最初はそこまで考え

いたと思いますよ。英語ではペプタイドと言います。私も毎日飲んでますが、150歳への挑戦という意味で本(『サバペプチド』)若返る「元気になる」を書きました。

杉本 へえー。その馬の調教師は。

沼川 モナーは境直行調教師で、熊本生まれなんですよ。熊本の方に頼もうつて、お願いに行きました。ビッグジエムは、杵臼牧場がお付き合いがあつた瀬戸口先生に行く予定だからといふことで、お任せして。

杉本 それで、沼川オーナーの馬はペプチドという冠名ですが。

沼川 うちの健康食品の名前でもあります  
が、必須アミノ酸のことを、ドイツ語でペチドと言います。

杉本 あ、ドイツ語ですか。

沼川 意味を知っている人はなかなかいな

# 馬主 沼川一彦

ぬまかわ・かずひこ/1944(昭和19)年1月30日生まれ。熊本県出身。健康食品製造販売卸業、競走馬に伴う事業、繁殖牝馬による生産などを行つ有限会社ペプチド・ブリマ代表取締役社長。93年に中央競馬および地方競馬の馬主資格を取得。2003年に所有馬ビッグジエムが中央競馬で初勝利をあげる。24年フェブリースをペプチドナイルが制して、初重賞・初GI制覇を果たした。

## 杉本清 の競馬談義

桂伸也=撮影  
photograph by Shinya Katsura  
編集部=構成  
construction by Editorial Staff

450



杉本 それでペプチドナイルは最初の1勝が3走目ですよ。

沼川 はい。ダートに替わってから。最初乗っていた富田暁くんが、朝の調教が終わつてから、武(英智)調教師に「これはダートだと思いますけどね」というような話をしたらしいんですよ。それでダートに替えました。そしたら、あっさり勝っちゃった。

杉本 それで、ダートに替わってから3連勝しますが、このあたりからは、手応えとしては、これは行けると。

沼川 それが、先ほど申しましたが、GIでということにはつながらないです(笑)。

杉本 謙虚ですね(笑)。それでも、去年の函館で富田暁騎手で大沼S、藤岡佑介騎手でマリーンSに勝ったときには手応えというのは感じられたでしょう。

沼川 騎手では富田暁くんと藤岡佑介くんが一番親しいんですけど、ひょっとすると、というのは少し湧いてきましたね。だって、武調教師が強気なんですよ。

杉本 武英智調教師のお父さんは武永祥さんですよね。

沼川 はい、私たちが来るときは必ずお見えになつて。

杉本 そうすると、最初のきっかけは永祥さんですか。

沼川 いえ、お父さんとは、うちの馬が走りだしてから顔見知りになつた感じです。

### 武英智調教師とは、

#### 騎手時代からの縁

沼川 うちの馬を預けていた境直行さんの

したみたいなところがあつて、そして追い出したわけで。だから、位置を一旦下げたのが良かったんだと、私は思います。

杉本 あれは意識して下げたんですか。

沼川 あまりにもペースが速いから、それについて行つたらいかんなという判断でちよこつと下げたと言つてました。

杉本 彼(藤岡佑介騎手)も乗れるんですけど、(笑)。だけど、あの激しいレースを勝つて、ほんとに強いと思いました。次は地方のかしわ記念(5月1日・船橋競馬場)ということで、最終的には中京のチャンピオンズCになりますよ。

沼川 ナイルはまだ成長途上で、やつと開花し始めたかなと。そんな気がします。

杉本 今晚、ドバイワールドカップがありますが、関心はないですか。海外とか。

沼川 私はもう、馬のことだけを考えた教してくれと。ただ、アメリカだけは行かないでくれって言つてますけど。

杉本 どうしてですか。

沼川 怪我をするって、聞きますし。

杉本 ああ、日本のような砂と違つて、山土みたいなんです。僕はスキー・キャプテンがケンタッキー・ダービーに出た年に取材に行きましたが、惨敗したんです。あとで馬場を見たら、山土みたいで、それも硬い。

日本の中の馬はそういうところで走つてないの

ところの小川くんという厩務員と武くんが仲良しでした。武くんは調教が上手かつたので、その時からうちの馬の調教に乗つてもらえるようにお願いしていました。それがご縁で、ペプチドルビーという馬に武くんが乗つてオープンに勝つてくれたんですね。それから親子の絆のようなものができます。調教師になつてからは全面的に。杉本 ああ、なるほど。それで永祥さんとも縁ができた。

沼川 そうです。ですから、フェブラリーSのときも、もう目を真っ赤にして、自分の馬が勝つたように喜んでいただいて。

杉本 永祥さんも騎手のときはGIには恵まれなかつたから、息子さんの馬が勝つて、感動されたんだと思いますね。

沼川 武くんも、騎手のときは苦労していますから……。

杉本 そうでしたね。それで、去年の暮れにリストッド競走のベテルギウスSに勝つて、GIIの東海S6着からフェブラリーSでした。が、僕は、ペプチドナイルというのは藤岡佑介くんが乗つてるので、怖いぞという気がしたんですよ。だから、単勝は買つてました。

沼川 ああ、そうですか(笑)。

杉本 だけど、減つてました、単勝(笑)。まあ、それでも3800円ついたんですけど、その前のは……。

沼川 58倍ぐらいでした(笑)。

杉本 ねえ。だから、そのつもりで僕は馬券を買つてゐるのに(笑)。

沼川 私は、単勝と複勝です。勝つなんて夢のまた夢という話をしましたけど、前の馬のまた夢という話をしましたけど、前

GIで走らせたい願望はありますよ、心の片隅に。  
それが、実際にレースに出て、しかも勝つなんてことは、雲のまた上の話。



## 杉本清の競馬談義

Kazuhiko Namakawa × Kyoshi Sugimoto

今年のフェラリーアークが行われた2月18日は、沼川オーナー夫妻が結婚式を挙げた記念の日。愛馬のGI勝利に喜びもひとしお



で、これはだめだなと思いました。

沼川 そうらしいですね。あちこちから、アメリカは大変だと言われるのです。

杉本 そうしたら、来年、ドバイとかサウジアラビアとかありますよ。

沼川 そつちの方が、武くんがちょっと色々気を出してましたね(笑)。

杉本 武さんが行きましょうということになつたら、行きますね。

沼川 お任せいたします。私は外国に行きたくないです。

杉本 ドバイ、いいですか(笑)。ぜひ行って、見学してきてください。

沼川 ありがとうございます(笑)。

母親に付ける馬も全部家内が考えています

杉本 今、馬は何頭ぐらいいるんですか。

沼川 常時、10頭ぐらいはいるみたいです。まあ、その程度しかできません。だいたいひとつは勝つですね。

杉本 結局、勝たないと面白くないです。

沼川 そうですね。勝たないとやめなきやいけないです(笑)。

杉本 1年にどれくらい馬を買われているんですか。

沼川 母親から生まれてくるのが主体で、これが5頭ほどあります。それと杵臼さんから2頭ぐらい、毎年買つています。

杉本 奥様も競馬が好きで。

沼川 家内は競馬にすごく詳しくて、特に血統をよく勉強しています。有名ではない種馬でもサークルと言いますもの。なんか、4×5とか、いろいろ言っていますが、私は

ちゃんぽんかんぽんです(笑)。

杉本 血統に詳しくなると、めちゃくちゃ面白い、やめられないと言いますからね。

沼川 杵臼さんから相談の電話が来ることもあつて、母馬に付ける馬も家内が全部考えています。

杉本 ヘエー、それはすごい。馬の名前とかも奥さんが付けられるんですか。

沼川 いや、それは家族で、話しながら考えて付けています。

杉本 ペプチドナイルというのはナイル川からなんですね。

沼川 そうです。以前、ペプチドアマゾンという名前を付けたら、ダービーで13番人気で4着(13年)になりました。川シリーズでは、社台から買ったセース、これはまだ未勝利なんですけど。今日出てるハドソンもハドソン川から。それとナイルですね。川の名前はこれで終わりかな。

杉本 今は毎日楽しくて仕方ないですよ。一から直線に向いたら、馬が勝手に走り出

レースでちょっと失敗して、負けた理由もわかつてましたし、追い切りのあとに、手応えがあると武くんも言ってたんですよ。だから、7割8割は勝つてそういうイメージは持つてましたね。そういうことで、ちょっと色気を出して買おうかなと。家内も同じようによつてまして、けつこうありましたね(笑)。

杉本 そうですか。馬券というの遊びですが、けつこうあつたお金は、どういうふうに使われたんですか(笑)。

沼川 北海道の役場に寄付したり、それから、祝勝会に。まだ祝勝会をしてないんです。仔馬も見に行きたいで、仔馬が生まれた頃にやろうと。杵臼さんからすると熱が冷めちゃうかもしれないけど(笑)。

杉本 そうですか。それで、どうでしたか。現実にGIタイトルが自分のものになった時は。

沼川 7階の馬主席から眺めていて、北海道からもたくさん応援に来てくれてました。が、下で表彰式があるのも忘れて、皆で握手して、涙を流して喜び合つてましたね。走馬燈のように色々巡つてきて、エラいことが起きてしまったというような、そんな感じでしたね(笑)。

杉本 レースはものすごく激しくなりましたね。先行馬が行つて、脱落していく中で抜け出してきたのはこの馬だけで。

沼川 そうですね。というのは、3コ一ナーから4コーナーにさしかかったときに、5番手に下げたんですね。そして4コーナーで抜けてました。

杉本 そうなんですね。3コーナーから直線に向いたら、馬が勝手に走り出